

# 東宮学士義忠歌合

左 水上夜螢

さみだれのやみはあやなしみぎはなる

ほたるのひかりかくれなければ

右

いさりぶねさをさしのぼるみずのおもに

ほたるはよるぞひかりましける

水上夜螢はかくれなしとおもひ、左うたに、やみはあやなしとよめるは、いろこそみえねといふうたのにのまるのをこがましきに、右はいさりぶねといふことのさしすぎて、かがりびのかげのみえねば、うたおもてのつづき、こころえがたくて、これもかれもにしの京のつつみのこちしてなむ  
なつのよのやみには人ぞまどひけるほたるはみづに  
きえずみゆれど